

田辺市都市計画マスタープラン

～人と地域が輝き、心の豊かさを実感できる交流拠点都市 田辺～

令和元年 7 月

はじめに

田辺市では、平成 22 年 3 月に「都市計画マスタープラン」を策定し、豊かな自然環境と歴史を活用した交流人口の増大や産業の活性化、並びに中心市街地を核とした機能的で暮らしやすい生活環境の創出に着目したまちづくりに取り組んでまいりました。ソフト面では、効率的な市街地形成のための都市計画区域の変更や準都市計画区域の指定、ハード面では、中心市街地の交通の円滑化及び回遊性の向上などによる中心市街地の活性化、並びに東西方向の連携強化を目的とした海蔵寺地区沿道区画整理型街路事業や都市計画道路元町新庄線整備事業の実施など、マスタープランに基づく多面的な取組を展開してきました。



その一方で、わが国においては、東日本大震災での津波災害をはじめ、頻発する豪雨災害や土砂災害などの自然災害の脅威が高まる中、広大な市域を有する本市においても、同様に巨大地震をはじめとする自然災害に対する備えなど、まちづくりに対する課題が浮き彫りとなりました。

こうした状況をふまえ、今回「都市計画マスタープラン」を改定し、今後目指すべきまちの将来像とその実現に向けたまちづくりの基本的な方針を定めたところです。「人と地域が輝き、心の豊かさを実感できる交流拠点都市 田辺」を新たな目標として設定し、あらゆる自然災害に対する備えや都市のスポンジ化、低未利用土地の活用などの新たな課題への対応、世界遺産に追加登録された闘雞神社を中心とする歴史的資源や地域資源を活かした個性ある地域づくりといった取組を通じて、心の豊かさを実感できるまちづくりを市民の皆様とともに進めていきたいと考えております。

結びに、本マスタープランの策定にあたり、ご尽力を賜りました田辺市都市計画マスタープラン策定委員会の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました多くの市民の皆様に、心からお礼を申し上げますとともに、まちづくりの推進に向けて、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和元年 7 月

田辺市長 真 砂 充 敏

～目次～

第 1 章	改定に係る概要	1
1	田辺市都市計画マスタープランの改定に際して	1
2	田辺市都市計画マスタープランの改定の背景	4
第 2 章	田辺市を取り巻く現状	9
1	広域的な位置づけ	9
2	自然的条件	11
3	社会的条件	12
4	土地利用と土地利用規制	23
第 3 章	田辺市のまちづくりの課題	34
1	まちづくりの課題の考え方	34
2	まちづくりの課題の設定	35
第 4 章	全体構想	37
1	まちの将来像	37
2	まちづくりの方針	47
第 5 章	地域別構想	64
1	地域区分	64
2	中部地域	65
3	西部地域	71
4	東部地域	77
5	南部地域	83
6	北西部地域	89
7	北東部地域	95
第 6 章	実現化の方策	101
1	都市計画マスタープランの意義と施策への展開	101
2	総合的な協働体制の構築	104
参考資料		106
	用語集	106
	策定体制と経緯	111

※このマスタープランの年号等の表記は以下のルールに則って表現されます。

- 文章中の年号は和暦全角表記。
- グラフ・図表で文字の小さな年号は和暦英数（S、H）表記。
- 将来を表現する時は西暦表記。